

発行所 日刊建設タイムズ社
〒260-0854 千葉市中央区長洲1-33-15
タイムズビル
電話043-225-5911 F A X 043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊(土・日・祝日休刊)
購読料 1か月 7,700円(税抜)
6か月 46,200円(税抜)

きょうの紙面

公共 1 市川市/2か年で文化会館を大規模改修

公共 2 千葉市科学館展示リニューアル設計提案募集

民間 3 市原市内工事一覧/浅川組で1744㎡プラント

公告 6 正心会/特養美晴らしの里おたかの森新築

入札 6 千葉みなと埋立工その2-2/東亜が1.3億円

入札 5 北関東防衛木更津倉庫青木あすなる1.9億円



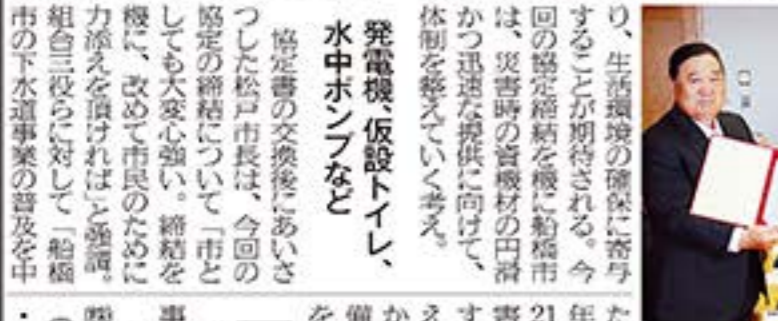
船橋市と船橋市管工事業の「災害時の応急措置及び協同組合(組合員引継ぎ)と資機材の提供に関する協定の締結式が17日、船橋市役所の第2応接室で行われた。締結式には、船橋市から松戸徹市長、林貞作・市長公室長、國井松司・危機管理監の3人、船橋市管工事業協同組合から古橋久治代表理事、小原智副理事長、柳田事務局長らから(前列左から)大吉専務理事、小原副理事長、古橋代表理事、松戸市長、山田副理事長、(後列左から)柴田理事、藤田理事、沼倉理事、柳田事務局長らが出席した。

船橋市と船橋市管工事業協組が協定
応急修理と資機材提供
生活環境の確保に期待

船橋市と船橋市管工事業の「災害時の応急措置及び協同組合(組合員引継ぎ)と資機材の提供に関する協定の締結式が17日、船橋市役所の第2応接室で行われた。締結式には、船橋市から松戸徹市長、林貞作・市長公室長、國井松司・危機管理監の3人、船橋市管工事業協同組合から古橋久治代表理事、小原智副理事長、柳田事務局長らから(前列左から)大吉専務理事、小原副理事長、古橋代表理事、松戸市長、山田副理事長、(後列左から)柴田理事、藤田理事、沼倉理事、柳田事務局長らが出席した。

URリンケージを選定
特定土地 区画整理の業務支援
移転補償、保留地販売など

国土交通省のURリンケージが、千葉県市街地整備課の特定土地区画整理業務の業務支援として選定された。URリンケージは、移転補償、保留地販売などの業務を支援する。市街地整備課は、特定土地の区画整理を進めるため、URリンケージのノウハウを活用する。URリンケージは、移転補償、保留地販売などの業務を支援する。市街地整備課は、特定土地の区画整理を進めるため、URリンケージのノウハウを活用する。



協定書の交換後、あいさつした松戸市長は、今回の協定の締結について「市としても大変心強い。締結を機に、改めて市民のために力添えを頂ければ」と強調。復旧までの間に必要な資機材を提供することによって、生活環境の確保に寄与する。今回の協定の締結は、災害時の応急措置と資機材の提供に関する協定の締結式が17日、船橋市役所の第2応接室で行われた。



協定書を取り交わした古橋代表理事(左)と松戸市長。古橋代表理事は「協定の締結については、船橋市の安全と安心を確保する力が一つ増えた」と表した。松戸市長は「船橋市は、これまで、地震に対する防災対策を中心に行ってきた。今回の協定の締結は、被災後の速やかな復旧復興に関する活動を行うことになり、私もこれを受けて古橋代表理事は、東日本大震災の発生から9年が経ち、10年目に突入したことに言及し、「我々も、またいつ来るかわからない災害に向けて、安全に協力できる体制を整えていきたい」との決意を表明。今回の協定の締結は、被災後の速やかな復旧復興に関する活動を行うことになり、私もこれを受けて古橋代表理事は、東日本大震災の発生から9年が経ち、10年目に突入したことに言及し、「我々も、またいつ来るかわからない災害に向けて、安全に協力できる体制を整えていきたい」との決意を表明。

協定締結式への出席者
古橋久治代表理事(理) 柳大古工業 △藤田章光・代表理事、古橋工業(株) △小原副理事長(財務委員長、前原興智・副理事長(不二公業 業) △柴田久恵・理事(土) △山田 晃・副理事長(佐工業(株)) △沼倉 剛・監事(山田建設) △古橋久治代表理事(柳田工業所) △柳田事務局長(柳田事務局長、正明・事務局長)

志津ポンプ場移設含め検討
稲荷台四丁目 改築に債務

佐倉市下水道会計予算
稲荷台四丁目改築に債務
志津ポンプ場の移設を含め、稲荷台四丁目の改築に債務が認められる。佐倉市は、下水道会計予算の中で、稲荷台四丁目の改築に債務を認める。志津ポンプ場の移設を含め、稲荷台四丁目の改築に債務が認められる。佐倉市は、下水道会計予算の中で、稲荷台四丁目の改築に債務を認める。